

ふりがな 氏名	さとう たかのり 佐藤 尊範	職名	教授
取得学位	博士（社会医学）		
学歴	秋田大学大学院医学研究科博士課程 修了		
受賞歴等			
所属学会	大学教育学会，日本デジタルゲーム学会		

教育活動

（主な担当科目）

2022年：情報リテラシー，コンピュータ・リテラシーⅡ，情報科学，情報科学演習
 2021年：情報リテラシー，コンピュータ・リテラシーⅡ，情報科学，情報科学演習
 2020年：情報リテラシー，コンピュータ・リテラシーⅡ，情報科学，情報科学演習
 2019年：情報リテラシー，コンピュータ・リテラシーⅡ，情報科学，情報科学演習
 2018年：情報リテラシー，コンピュータ・リテラシーⅡ，情報科学，情報科学演習
 2017年：情報リテラシー，コンピュータ・リテラシーⅡ，情報科学，情報科学演習

研究活動

（論文等）

- ・ Motoyuki Kanestuna, Kosuke Miyaji, Takanori Sato. “R & D and inter-firm knowledge flow in Japan’s shipbuilding industry: Comparative analysis of factors that promote knowledge flow between domestic and overseas partners.” “Management for sustainable and inclusive development in a transforming Asia” edited by Hiromi Shioji, Dev Raj Adhikari, Fumio Yoshino, Takabumi Hayashi, Springer. 2020.

（研究発表等）

- ・ 情報科目における学習到達度の自己評価：コロナ過での授業実践に関する考察
2021年6月 大学教育学会第43回大会，関西大学
- ・ Inter-Firm Relationship and Knowledge Flow in Japan’s Shipbuilding Industry: A Comparative Analysis between Domestic Partners and Overseas Partners
2019年6月 第15回 IFEAMA 国際大会，京都大学（共同発表）
- ・ 情報教育による情報活用能力の育成－情報社会に参画する態度に関する考察
2019年6月 大学教育学会第41回大会，玉川大学
- ・ 情報科目におけるマインドマップの活用－学習用具としての有用性に関する考察
2018年6月 大学教育学会第40回大会，筑波大学
- ・ 海事クラスター内部と外部の企業間関係の比較分析－船舶の設計段階と製造段階における協調関係－
2018年3月 南山経営研究第32巻第3号（共著）
- ・ 数理模型を応用したシミュレーション教育の実践とその学習効果
2018年3月 東海学院大学紀要第11号



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY